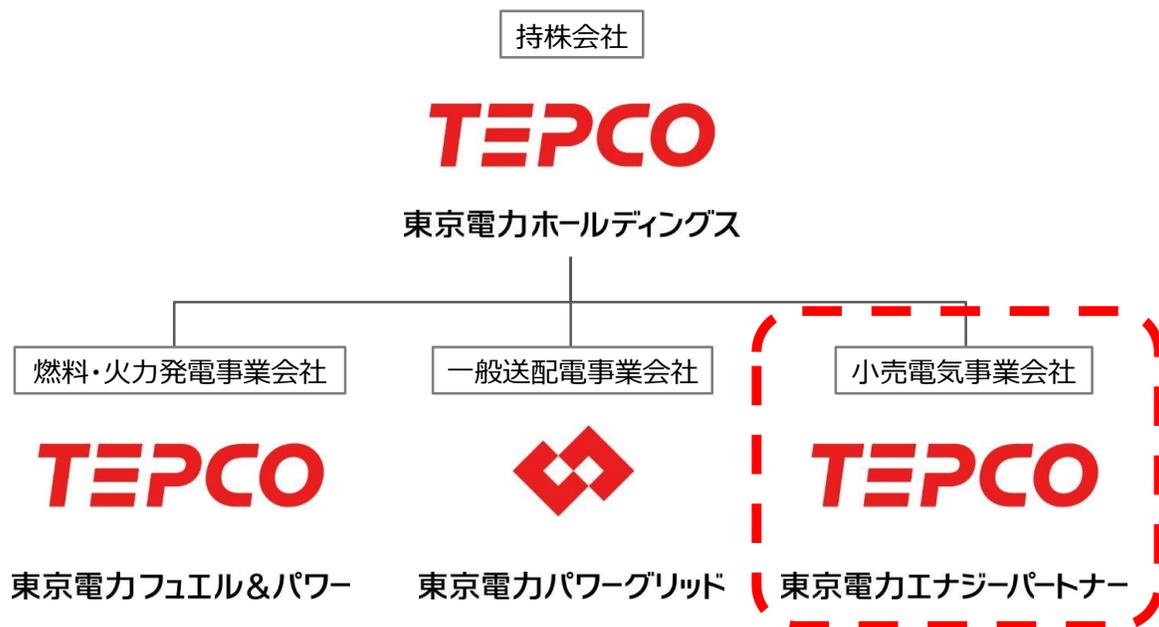


RPAのエンドユーザーとどう向き合うか

東京電力エナジーパートナー株式会社
IT戦略室 システム企画・開発グループ
課長 秋田 正憲

2019/1/30



| | |
|--------|--|
| 会社名 | 東京電力エナジーパートナー株式会社 |
| 英訳名 | TEPCO Energy Partner, Incorporated |
| 本社所在地 | 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目13番1号 銀座三井ビルディング TEL : 03-6373-1111 (代表) ※商業登記上の本店住所 は〒100-8560 千代田区内幸町一丁目1番3号となります。 |
| 代表者 | 川崎 敏寛 |
| 設立年月日 | 2015年4月1日 |
| 資本金 | 10,000 百万円 |
| 親会社 | 東京電力ホールディングス株式会社 (出資比率100%) |
| 主な事業内容 | 小売電気事業、ガス事業等 小売電気事業者登録番号 : A0269 ガス小売事業者登録番号 : A0002 |

電気、ガス、それから それから。

- ▶ 電力・ガスの提供だけに留まらず、「毎日を、もっと安心に、もっと快適にもっと楽しく」を実現し、家族の暮らしを支える、さまざまなサービスを提供してまいります

○弊社マスコットキャラクター「テプコン」

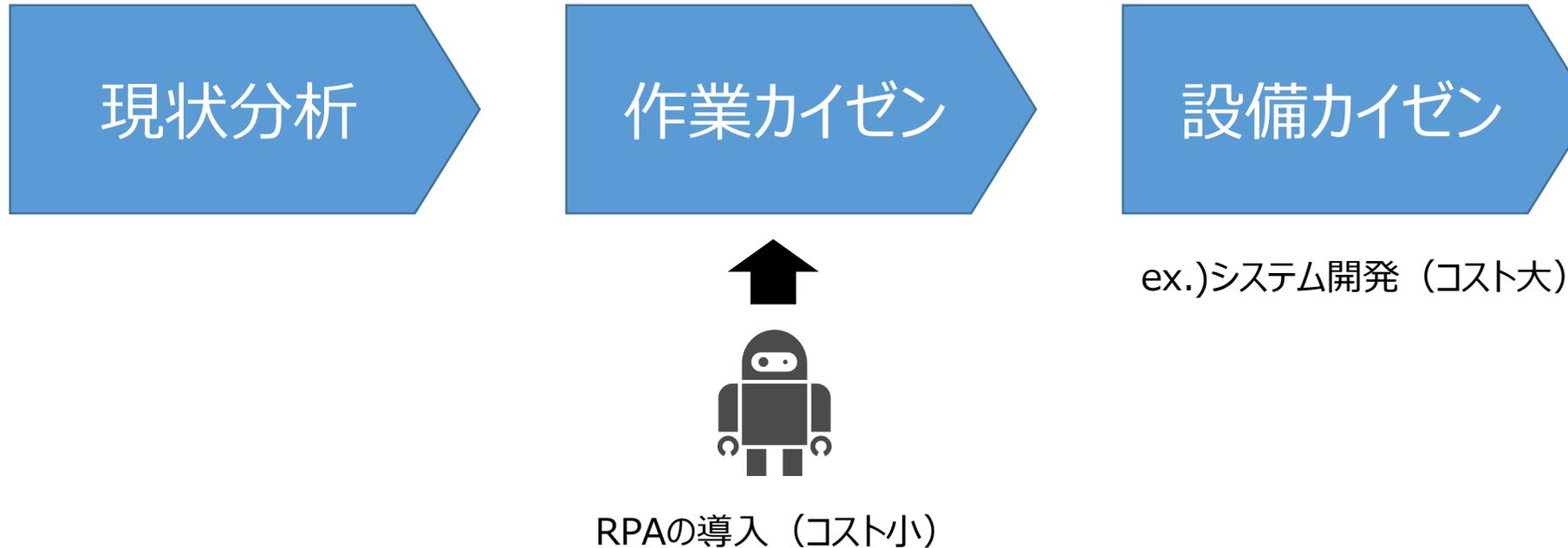


○キャンペーンやってます



<http://www.tepco.co.jp/ep/gas-jiyuuka/lp/set.html>

- 弊社カイゼン活動の一部にRPAを位置づけ
- システム登録・データ取得業務を中心に100以上の業務に取り組み



エンドユーザーとの向き合い方

- 参考にしたのは「家庭教師」や「個別指導塾の講師」
- 当たり前前のことを「愚直に」やる（当初の失敗を踏まえ・・・）

基本スタンス

- **あくまで受験するのは「自分」**
→ **替え玉受験はしない**

留意事項

- **いかに次のアポを取るか？**
→ **成功のカギは「2回目」のレク**
- **レクの負担を軽くする**
→ **ロボもQAも随時テンプレ化**

今後の展開

- 大規模ロボ運用の確立
- 業務側・IT側双方のRPA推進要員強化

御社へのリクエスト

- 仮想ブラウザへの対応
- ブラウザ固有のクセ（ポップアップ等）への対応
- ウィンドウ状態を踏まえた部品セレクト

ご清聴ありがとうございました

TEPCO

R P Aのエンドユーザーと どう向き合うか

2019年1月30日

資産管理サービス信託銀行株式会社

事務統括部 D I 推進室

室長 中村博充

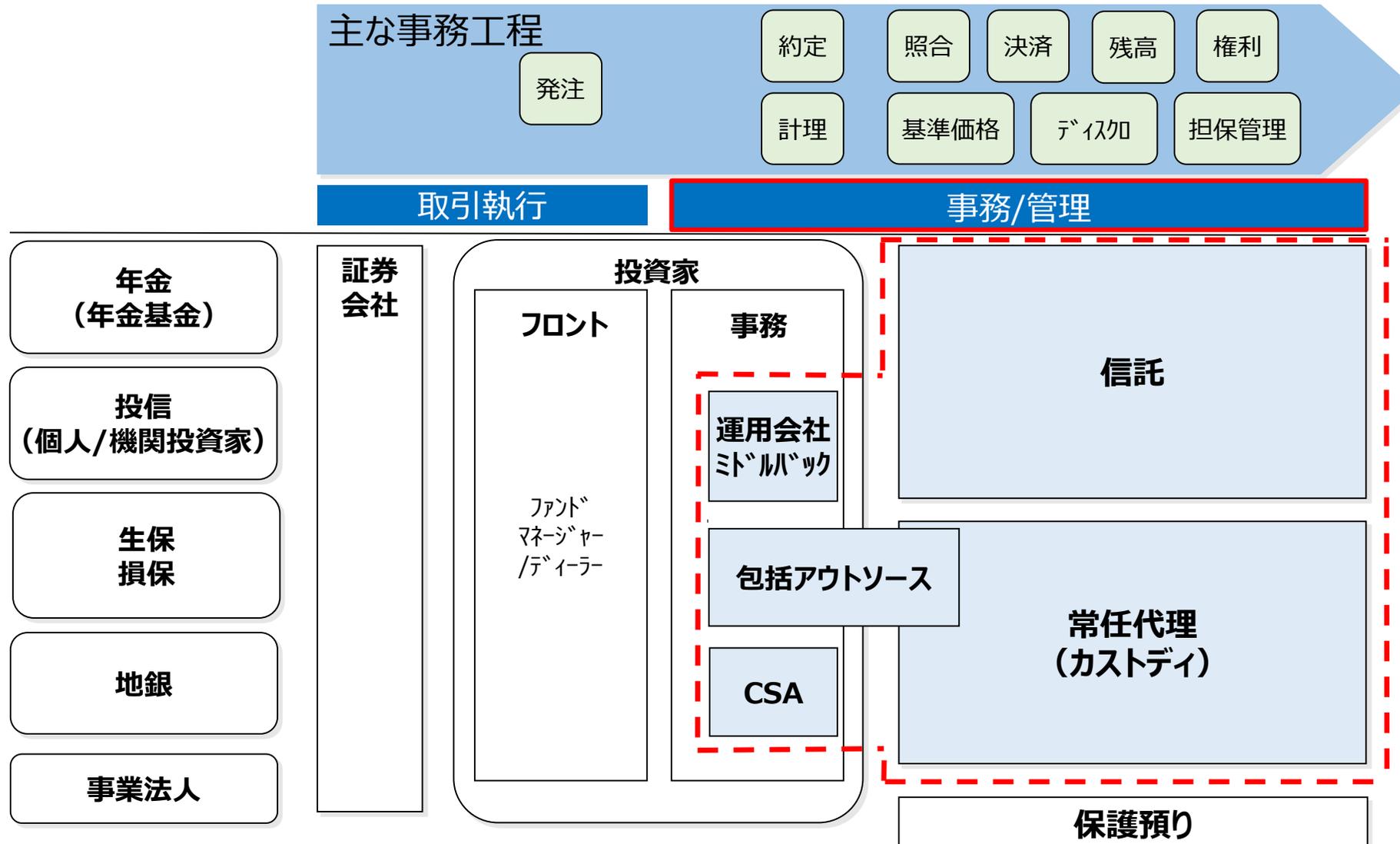
会社概要

(平成30年10月1日現在)

| | |
|----------|--|
| 商号 | 資産管理サービス信託銀行株式会社 Trust & Custody Services Bank, Ltd. |
| 設立日 | 平成13年1月22日 |
| 所在地 | 〒104-6228 東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海トリトンスクエア タワーZ (総合受付: 28階) TEL 03-6220-4000 (大代表) |
| 資本金 | 500億円 |
| 出資者・出資比率 | JTCホールディングス株式会社 100% |
| 金融機関コード | 0325 (店舗コード: 本店001) |
| 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第601号 |
| 業務内容 | 1. 有価証券管理サービス 信託サービス、国内カストディサービス、海外カストディサービス、 確定拠出年金の資産管理サービス、 マスタートラストサービス(情報統合サービス) 2. 資産管理に係る各種付加価値サービス 包括的有価証券管理アウトソースサービス、 セキュリティーズ・レンディングサービス、 事務受任サービス(資産運用会社ミドル・バックオフィス事務、 デリバティブ担保管理事務) |

当社の業務領域

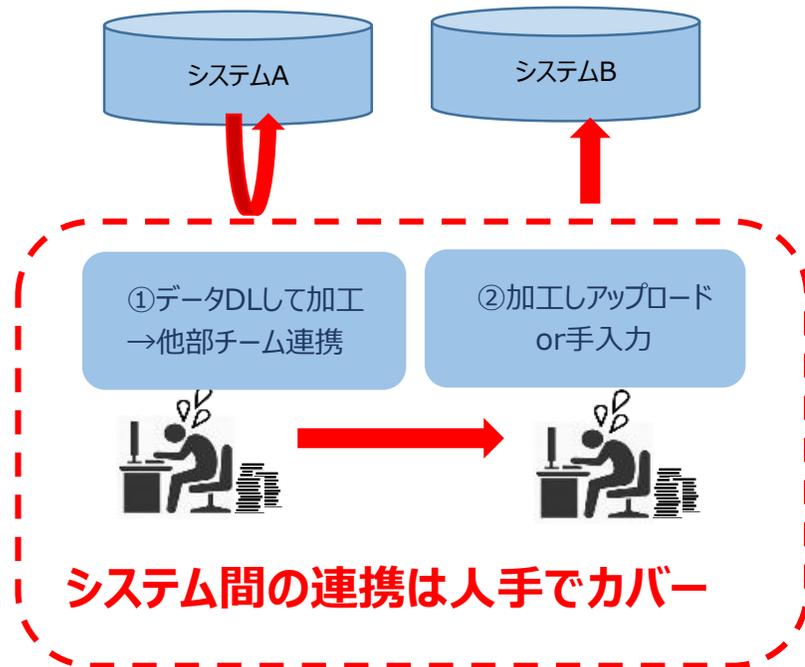
- 特定金銭信託・特定包括信託をはじめ、有価証券信託等、資産運用にかかわる有価証券の管理業務



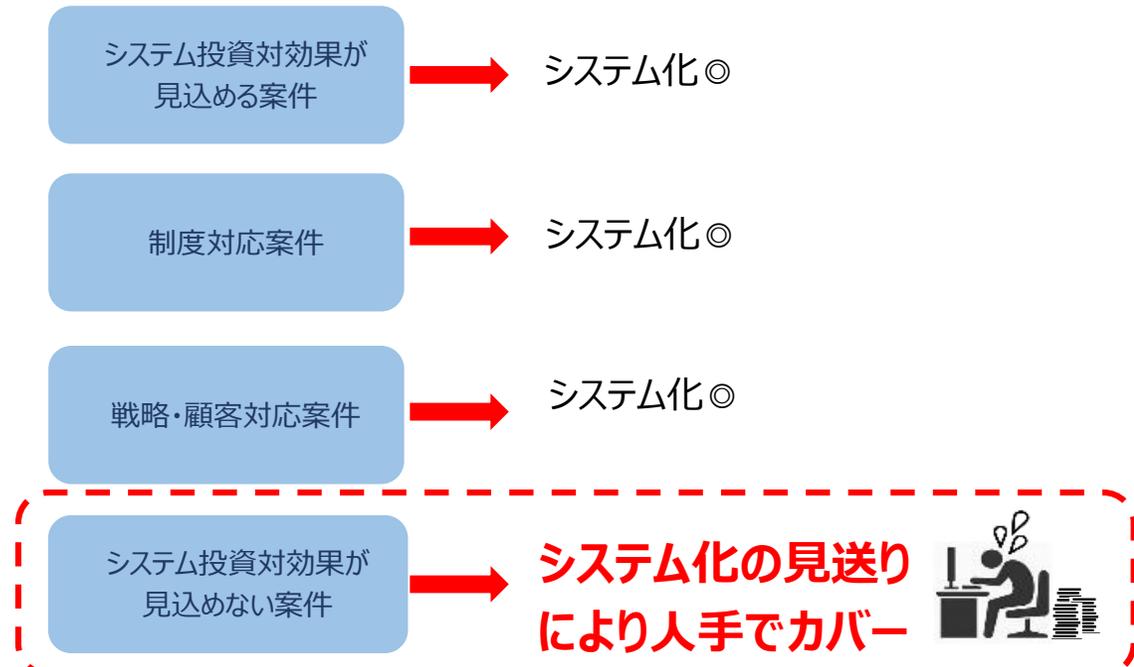
自動化対象業務範囲 当社における課題認識

- 当社にとって事務は「商品」であり、事務の堅確化・効率化推進は最重要事項。
- しかしながら、顧客やファンドの属性に応じた**少量多品種な事務**を多く抱えており、
 - ✓ ファンド属性や工程によって異なる複雑なシステム体系をつなぐ部分は手作業が残りがち（課題①）
 - ✓ システム化費用対効果が見込めない小ロットの業務は手作業が残りがち（課題②）

課題①

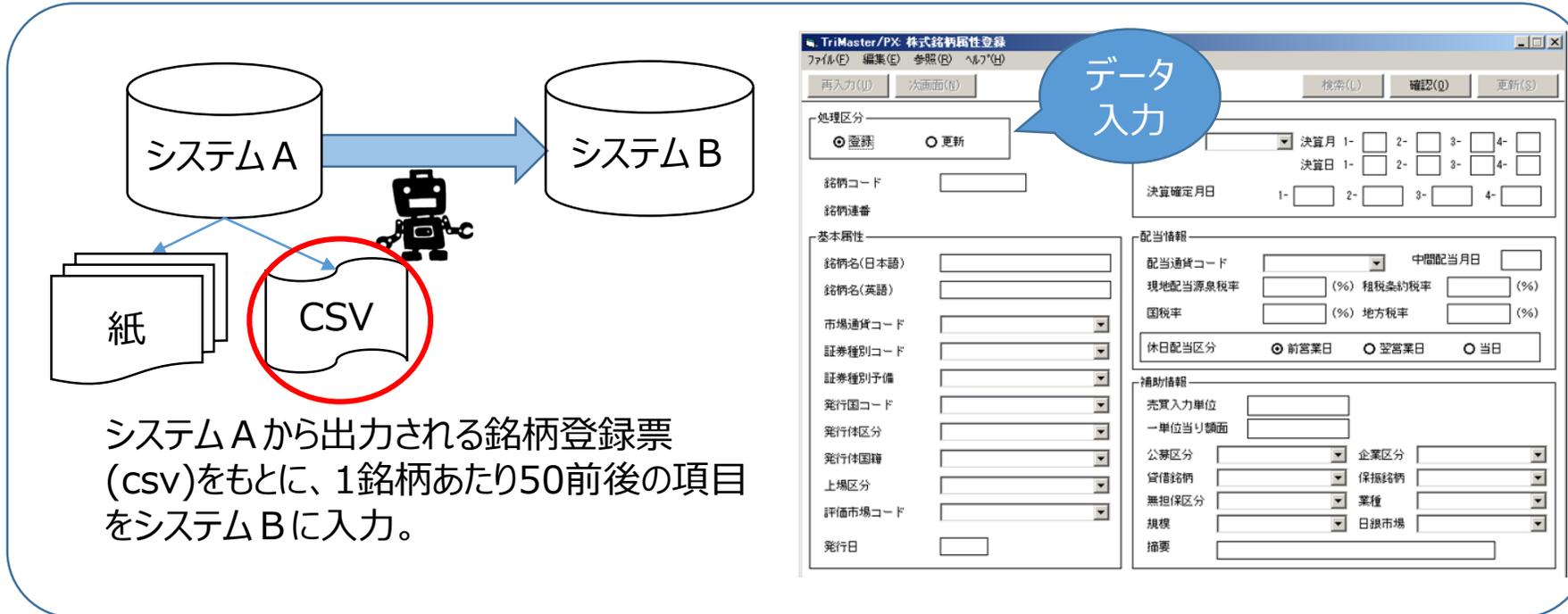


課題②



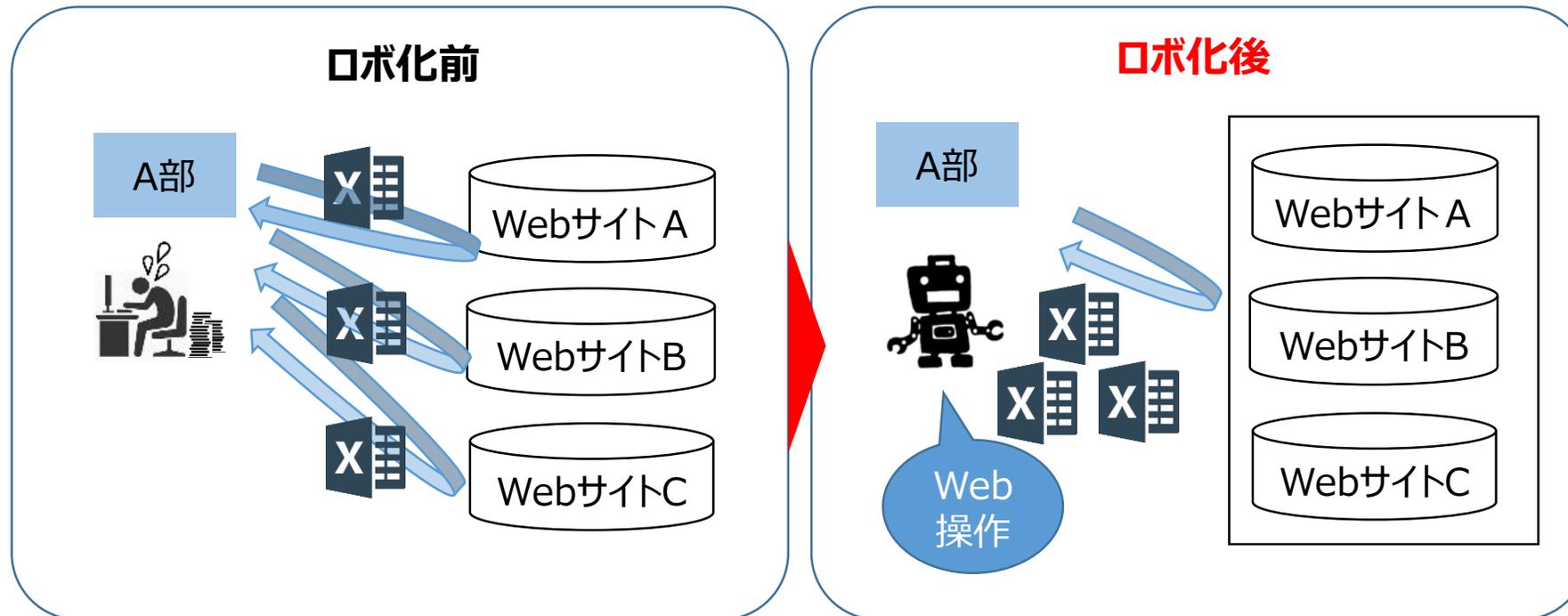
案件例 1 (システムへの新規銘柄登録)

| 対象業務 | ロボ化のメリット |
|--|--|
| <p>システムへの新規銘柄登録 他チームから連携された新規銘柄登録票をもとにシステムへ外株銘柄の「銘柄名・上場区分・発行体」等を入力</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 定型・繰り返し業務の負担軽減 • 入力ミスのリスク削減 |



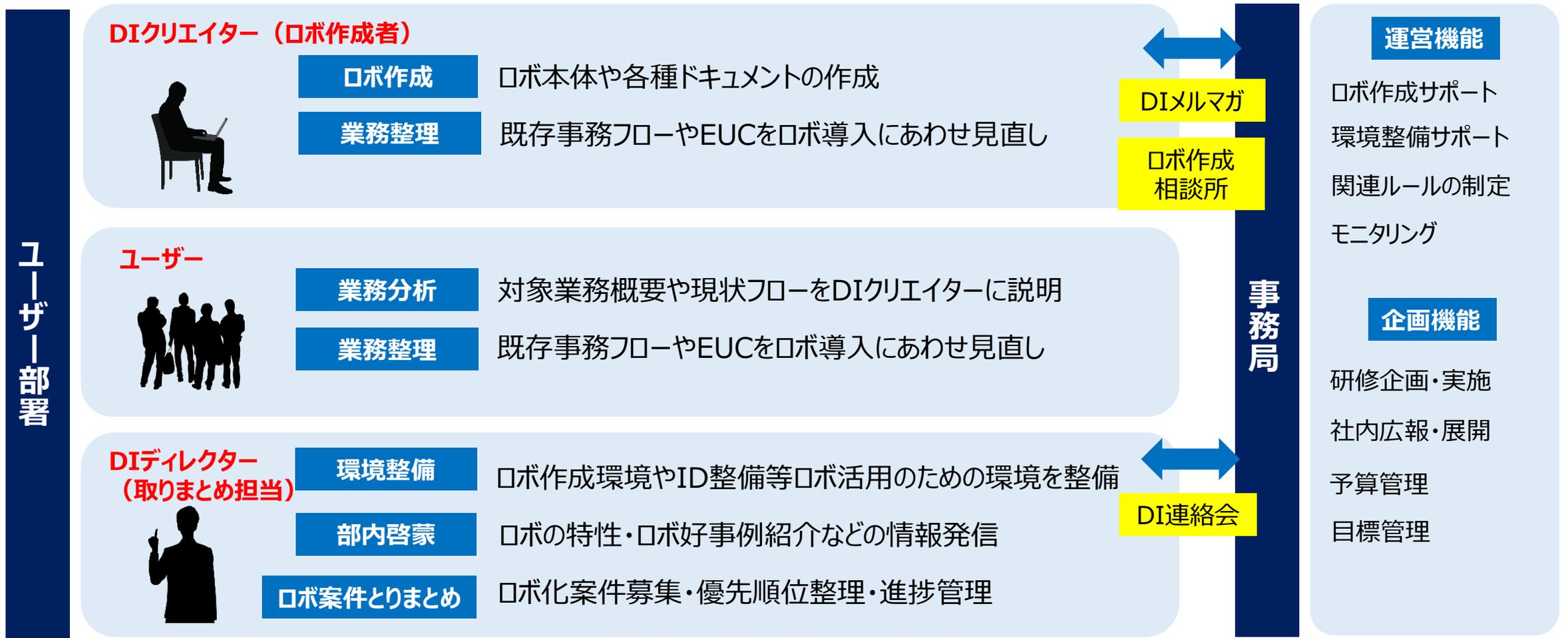
案件例 2 (Webからのレポート取得)

| 対象業務 | ロボ化のメリット |
|---|---|
| <p>Webからのレポート取得 毎朝、複数のwebサイトから様々な種類のレポートをダウンロードし、決められたフォルダに格納。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 定型・繰り返し業務の負担軽減• タイマー実行による作業漏れリスク削減• 繁忙時における時間的・精神的ゆとり創出 |



エンドユーザーと事務局の関わり全体像

- 当社ではユーザー部署現場担当者（= **DIクリエイター**）がロボ作成を担当。DIクリエイター・**ユーザー**・取りまとめ担当者（= **DIディレクター**）三位一体でロボ化を推進。
- 事務局は運営面・企画面からユーザー部署のロボ作成をサポート



全社向け啓蒙活動 B P R 勉強会資料より

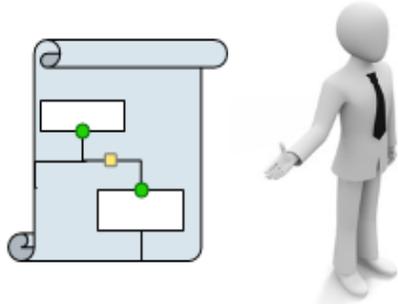
BPR(Business Process Reengineering)は、組織やプロセスを抜本的に見直し、再設計することです。具体的には、事務の工程の一部分を改善するのではなく、**一連の事務全体を作り変えること**と考えてください。

もっと簡単にいうと**BPR = 抜本的に「やめる！」・「変える！」**ことです。



Step 1

現状(As-is)把握



- ✓ 現状の業務フローを整理してAs-is業務フローを作成

Step 2

ありたい姿(To-be)の構想



- ✓ As-is業務フローにおける問題点を把握
- ✓ As-Is業務フローから“ありたい姿(To-be業務フロー)”を検討する

Step 3

手段の検討



- ✓ チーム全体・他部・上席者等関係者を巻き込みながら、“ありたい姿(To-be業務フロー) 実現に向けた具体的な手段の検討を行う

ロボ導入時 エンドユーザーへの啓蒙

■ 導入や活用をスムーズに行うためのポイントは以下の通り。

案件
洗い出し

ロボ化のための案件ではなく「困っていること」「何とかしたいこと」という観点で案件を洗い出す

ロボ作成

ロボ化案件は「DIクリエイター」だけが担当するものではない

DIクリエイター・ユーザー・SEとのタグが重要！

ロボ作成

既存事務フローのBPRにより作成するロボを極力シンプル化する

ロボ作成

全てをロボで実現しようとせず適切なソリューションを取捨選択する

ロボ利用

ロボの長所のみならず短所も含め、正しいロボの知識を広める